

平成七年一月十三日発行
第二八四号
大豊町中央公民館編集
印刷高知印刷株式会社

大豊町報

十二月末の人口世帯数
世帯 三、〇七六戸
男 三、四四八人
女 三、九四一人
人口 七、三八九人



冬の梶ヶ森・天狗の鼻から遠く三嶺～剣山を望む（山荘・梶ヶ森提供）

★今年は選挙の年★

『明るい選挙推進の町』

大豊町議会議員選挙

○告示日・平成七年二月十四日

○投票日・平成七年二月十九日

大豊町農業委員選挙

○告示日・平成七年三月十四日

○投票日・平成七年三月十九日

高知県議会議員選挙

○告示日・平成七年三月三十一日

○投票日・平成七年四月九日

◎公職選挙法を厳守し、違反のない明るい選挙の推進を皆んなで守りましょう。

大豊町選挙管理委員会
明るい選挙推進協議会

年頭のあいさつ

大豊町長 西岡 仁司



1月4日・ご用始め式典、西岡町長

この礎の上に立って、更なる前進を期すことが、私に課せられた使命でありその責務の重大さを、今一度新たにしているところであります。

輝かしい新春を寿ぎ、謹んで町民の皆様方のご健勝をお慶び申し上げます。

昨年は、はからずも身に余るご支援をいただき、町長当選の栄を賜り、誠に光栄これに過ぐるものなく、厚く感謝申し上げる次第であります。前町長渡辺盛男氏は、町勢進展のため、数々の懸案施策の具現に真摯な努力を傾注され、今日の大豊町を築かれたものであり、その評価たるや真に大なるものと存じます。

ご案内のように、昨年は細川内閣のもとで予算編成が行われ、歴代内閣の懸案である政治改革実現に向けての関連法案の審議が最優先の課題となり、越年を余儀なくされ、その影響が憂慮されましたが、閣議決定に先立ち地方財政対策骨子の情報提供があり、その不測の事態は回避され、大豊町も通常予算の編成がなされ、町民の皆様のご理解とご協力により予算の執行、施策の具現に向けて順調な進捗をみているところであります。衷心より厚くお礼申し上げます。

平成七年度につきましては平成六年八月二十五日、自治省発表の地方行財政重点施策によると、その基本的な方向づけとして、「魅力ある地域づく



町議会議員・来賓を迎えて大豊町ご用始め式典

くり」「地方行政制度の充実、改善」「地方税財源の充実確保」「選挙制度の改革」「住民生活の安全の確立」の五本の柱で構成され、地方公共団体の創造性、自主性の強化による地域社会形成への積極的な姿勢が要求されています。

大豊町にあつては、ゆとりと活力に満ちた居住の場としての生活空間の創造による個性豊かな地域「ゆとりすと方

ントリーおおとよ」をめざし若年層の定住促進、高齢化への対応、地域の特性を活かした多面的な産業振興施策等々先に大豊町振興計画審議会に諮問、その答申を得た「第四次大豊町総合計画基本戦略」、その具現に向けての実施戦略として去る十二月定例会で議決をいただいた「大豊町過疎地域活性化計画」を策定し、その第一歩を踏み出したところであります。

過疎、高齢化の渦中での各般にわたる行政需要は、拡大の一途を辿っていますが、ゆとりと充実感のある生活そして地についた未来を求めるより堅実な行政へのニーズがかがわれ、私の施政方針との整合に意を強くしているところであります。

平成七年度の事業展開にあたっては、行財政の運営に厳しい対応を求められることは必至であります。その克服への具体的方策を町民と共に考え実行してゆく姿勢のもと国県の動向を的確に把握し、合併四十周年の記念すべき年にあたり、更なる飛躍を期して社会資本の整備、福祉の充実、快適な環境づくりのため施策を積極的に推進し、町民の皆様のご期待に応えるべく全力を傾注する覚悟であります。



完成間近の「ゆとりすとパーク中村大王」

町民の皆様の特段のご理解と、温かいご支援を心からお願い申し上げますと共に益々のご健勝とご多幸を祈念致しまして、新年のご挨拶と致します。

明けまして
おめでとう
ございます

町長 西岡 仁司
助役 平石 安央
収入役 秋山 正治
教育長 鎌倉 宏
役場職員 一同

年頭のあいさつ

大豊町議会議長 桑 名 芳 雄



町民の皆様、新年おめでとうございます。

ご家族お揃いで、明るい希望に満ちあふれた年を迎えられたこと心からお慶び申し上げます。

昨年は、少雨と夏の猛暑でダムの水位が下がり香川・愛媛の両県では、給水制限が長い間続き、社会的にも大きな反響を呼びました。

町内でも、簡易水道の恩恵を受けないご家庭では、飲料水などに深刻な影響を及ぼしました。

また農作物にも干害の影響があり、ご苦労も多かったことと存じます。

一方水稲は、病虫害も少なく豊作となり、昨年の米不足は解消されました。

国政をみますと、度重なる政権交替等により、政局が混

迷していましたが、永い間対立と模索されていた政治改革法が漸く成立し、政界再編の動きが加速されて居ります。

さて、本町は執行部の配慮と町民の皆様方の温かいご理解によりまして、宇宙への大きな夢を求める「梶ヶ森天体望遠鏡施設の完成」豊永地域の方々の望望久しかった「ゆとり」と交流センター完成と

また、今年一部オーブン予定の「ゆとり」とパーク中村大王」若者定住促進施策の住宅整備国道四三九号の改良事業、町道、農林道の整備、本町にかくことの出来ない老人福祉計画の推進、各種産業の振興等々生活基盤の充実を目的とする諸施策が順調に進展をみていますことは御同慶の至りであります。

然し乍ら、本町の現状を考えると、過疎と高齢化の中でウルグアイラウンド後の山間地農業への対応や九割に及ぶ林野を有する林業政策を始め二次・三次産業などの課題も

大きく容易ではありません。大胆な発想と綿密な計画により、二十一世紀に生き残りをかける諸施策を樹立すべき重要な時期であると思います。

今年は、戦後五十年という節目の年であります。

国土は廃虚となり、苦しみながら起き上がり、高度成長を遂げた今日こそ過去を反省し、未来のため冷静に判断する時期と考えるものであります。

永い間、町勢発展に多大な功績を残され、勇退されました前町長渡辺盛男氏のご苦勞をたたえ感謝を申し上げますとともに、新しく町民の期待と信頼を担って誕生された西岡町長のご活躍を大いに期待いたします。

私も議会も町民の皆様のご期待に応えるべく、最善を尽くしたつもりですが、まだまだ負託には程遠いかもわかりません。

その任期も僅かとなりましたが、皆様の温かいご支援ご協力に心から感謝を申し上げます。

終わりに、町民各位の一層のご多幸ご繁栄と大豊町の更なる発展をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

全国構造政策推進会議会長表彰

庵谷地区地域農業集団

去る、平成六年十一月十八日、農林水産省講堂で開催された平成六年度全国構造政策推進大会において、本町の庵谷地区地域農業集団が、全国構造政策推進会議会長賞の栄誉に輝きました。

今回の受賞は、昨年度の高知県地域農業振興大会での知事表彰に続いての受賞となります。

代表者の吉村優一氏を中心とした庵谷地区が、平成三年に水稲生産組合を設立し、せ



庵谷ミニライスセンター

まち直しに取り組みと共に田植えから刈り取りまでの一貫した農作業の受委託体制を確立したもので、地域農業の活性化に果たした役割が、高く評価されたものです。

本町の現状を踏まえ、将来的な農業の存続と活性化を考えたときに、農業施策の振興は当然の事、今後、各地区・地域でのこうした取り組みがますます重要視されるのではないかと思います。

水稲生産組合の活躍を期待するものであります。



平成6年度 全国構造政策推進大会
上野：全国構造政策推進会議 会長 吉村優一氏

1995年・20歳 大人への旅立ち

大豊町成人式対象者61名



平成7年1月15日・成人式記念撮影・大豊町農工センター

成人式メッセージ

新しい年の春とともに 成人式を迎えられた皆さん おめでとうございます。

皆さんのたくましい成長と 輝かしい前途を 県民こそつて祝福し 心からお喜び申し上げます。

皆さんは ご家族をはじめ多くの方々の愛情のもとで育まれ立派に成長され 大人の仲間入りされました。

いま社会経済情勢は 大きく変動しております。

こうした時代にこそ 従来の枠組みを越えた柔軟な発想が求められています。

このような時代の流れの中で 皆さんは広い視野を持ち しっかりと自分自身を見つめ それぞれの道を切り開いていただくとともに 個性ある県土づくりをすすめていくために 皆さんがのしやかな感性と意思を持ったアイデアを発揮していただくことを期待しています。

今後とも 友情と連帯の輪を一層深めながら 心豊かな人生を歩んでください。

皆さんの今後のご活躍を期待します。

平成七年一月十五日

高知県知事 橋本大二郎



成人式いささか緊張ぎみ



長谷川拓史君開式の辞



西岡町長祝辞



司会進行の下村賢彦君



上村馨さん成人を代表して謝辞



記念品を受ける秋山真一君

晴れやかに20歳の笑顔

新春恒例の大豊町成人式典が、一月十五日（成人の日）農工センターで行われました。

本町の住民票による対象者は、男二十一名・女二十六名・計四十七名ですが、町外に住所を置き、就職や大学に行っている方で、ふるさとの成人式に出席したいと申し出のあった方を含めると、男三十名・女三十一名・計六十一名です。晴れやかに着飾った女性・真新しい背広に緊張した男性など当日五十四名が出席しました。

午前十一時、成人式実行委員会の運営により厳粛に執り行われました。

式典は、鎌倉教育長の式辞、西岡町長挨拶・桑名町議会議員長、門田県議員らの祝辞、記念品の贈呈。

新成人を代表して「上桃園・上村馨さん」が謝辞を述べ式典を終わり、記念撮影や立食パーティーが行われました。

また、本年度初めての催しとして、成人式を迎えた方々

の小・中学校時代の恩師「高峰中・畠中先生、大豊中・大杉中・野田先生、大杉小・長野先生、穴内中・藤本先生」のビデオメッセージが紹介された後、大豊に伝わる伝承芸能「大砂子の獅子舞」町文化推進協議会に所属している「おたまじゃくしのコーラス」などが、アトラクションとして披露され、成人式典に花を添えて下さいました。



式典後は、さながら同窓会



成人を祝って大砂子の獅子舞・コーラスグループ おたまじゃくし



第22回大豊町民文化祭盛会

県芸術祭協賛行事

町文化推進協議会（石原正恒会長）では、日ごろの文化活動「生涯学習」発表の場として、例年町民文化祭を開催していますが、十一月二十日、第二十二回文化祭が農工センターで行われ盛会でした。

九時過ぎ、石原会長の挨拶、西岡町長の祝辞に続き、舞台部門「大正琴・舞踊・民謡・コーラス・演劇」などが、次々に発表され、会場から喝采を受けていました。

また、展示部門では「生け花・書道・くみひも・俳句・民芸・絵画」そして茶席、商工会のチャリティーバザー・高須婦人会の売店なども開かれ訪れた人々を楽しませていました。

午後からは、町商工会の協力によりテレビ等でおなじみの料理研究家「程一彦先生・医者いらず、葉いらずで暮らすには食生活にあり」と題した記念講演。小中学生の作文発表など多彩な催しが終日行われました。

『文化推進協議会活動に対し、ご理解ご協力のほどをお願いいたします。』



町民文化祭、発表部門・展示部門



本年の第二十二回の文化祭でも例年のように大豊町商工会の協賛を戴き講演会を開催することができ、その上小中学生の優秀作文の発表など多彩なプログラムで開催する運びとなりました。文推協会員の方々も一年間精進を積み重ね、発表部門及び展示部門ともに内容が年々向上するよう努力しておりますが、この文化祭を通して町民の方々からのご批判とご指導を頂き、一層の改善を図りたいと存じます。

平素からの文化活動とこの文化祭を通して、相互の信頼と親睦を深め地域の連帯感を高め、故郷の人づくり町づくりに少しでも役立つことができれば幸であると考えております。

社会教育基本方針の中にも文化を媒体とした生涯学習をとりあげ「ゆとりと事業」を基本的構想としていられることは、私達文推協会員にとっても心強いかぎりであります。

この事業を通して文化祭で手の届かなかった創作文化にも手を染めることができました。

新しく誕生した文芸雑誌「ともしび」にも皆様方の変らぬご指導とご支援をお願い致します。終りに私達の文化活動に深いご理解を頂き、この文化祭を支えて下さっている関係者の方々に深甚の謝意をささげてごあいさつと致します。

町文化推進協議会長 石原正恒

お山の文化祭多くの人出でにぎわう

豊永地区公民館主催

豊永地区公民館（館長・都築義彦氏）主催「第二回お山の文化祭」が、十二月四日、新装なった「ゆとりすと交流センター」で盛大に開催。

午前中は、婦人会員や地区民による餅つき・豆腐製造実演・しほり立ての牛乳・地場産品の販売・チャリティーバザーなど多彩な催しが行われていました。

展示部門では、子どもから高齢者までの書道や図画・陶芸・生け花など、日頃の文化活動発表の場として、多くの作品が展示されていました。また、ゆとりすと交流センター「豊永地区公民館」の落成を記念しての餅まきも行われました。

午後からは、舞台部門の発表会が行われ、豊永の里は多くの人出で終日にぎわっていました。



お山の文化祭・ゆとりすと交流センターにて

優秀賞と学研賞を受賞

大田口小6年の15名

十一月十二日、高知市潮江市民図書館で、第四十六回・高知県小学生科学研究発表会が行われました。

土長南国地区の代表に選ばれた大田口小学校六年生、担任・藤坂先生（代表二名）が日頃の勉強の成果を発表し、みごと優秀賞と学研賞の二つの賞を受賞しました。

発表内容は、大田口小六年生（十五名）が、四月から共

同研究として取り組んできた研究テーマ「なすびをつくるには」を発表したもので「なすの茎（くき）」とピーマンの茎をつなぎ合わせて、なすとピーマンの両方が実る一つの植物をつくり出そう」と言うものでした。

高知県下から集まった各地区の代表の中で、おくすすることもなく大健闘し、賞をもらったことは、子どもたちにとって大きな自信になったことでしょうし、大豊町内の子どもたちにとっても明るいニュースとなったことでしょう。

大田口小六年生の子どもたちのがんばりに心から拍手をおくりたいと思います。



大田口小学校6年生15名の皆さん受賞おめでとう。今後とも仲良く研究活動に、そして勉強にスポーツに全員で頑張ってください

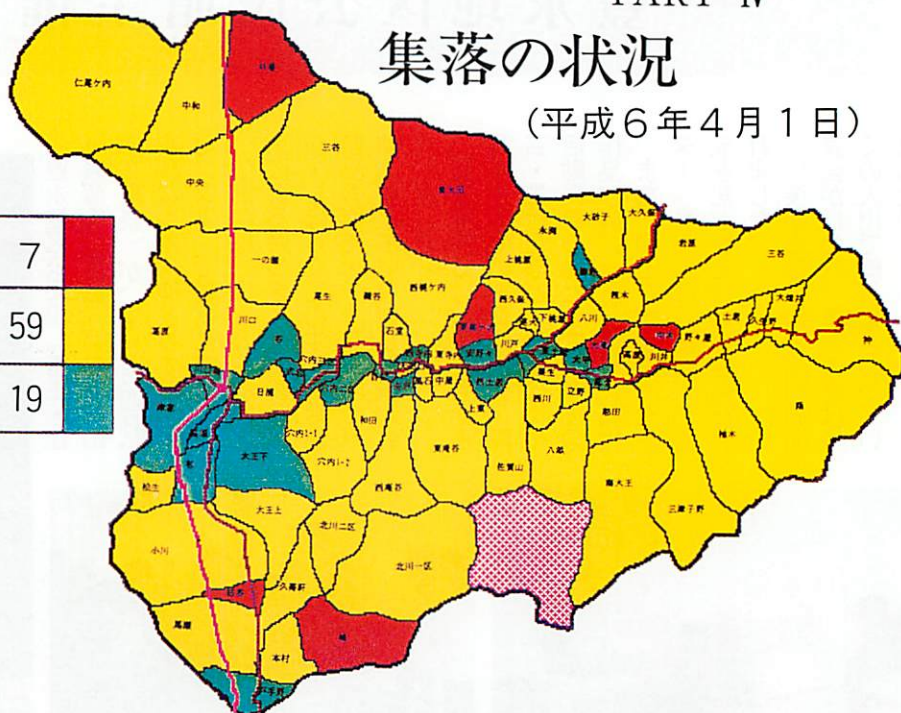
ゆとりすとカンتری“おおとよ”

PART IV

集落の状況

(平成6年4月1日)

高齢集落	7
高齢化集落	59
普通集落	19



高齢集落＝65歳以上の人口が半数を超える集落

高齢化集落＝55歳以上の人口が半数を超える集落

「地域区分」

本町の将来の姿をその機能から人の居住する地域を「核集落エリア」「準核集落エリア」「衛星集落エリア」、その周囲を取り巻く非居住地域を「森林エリア」に区分する。

「森林エリア」

核集落、衛星集落を取り巻く非居住地域の森林エリアは、林業を経営する空間及び森林を体験する空間とする。

このため、林道網などの基盤整備及び公的支援による林業法人等を核とする素材の生産、製材、加工、販売の一貫した流域林業システムを充実する。このシステムによる森林施業の受委託制度を活用した森林管理の適正化を図る。

また、流域林業システムの充実のため公的支援により設立した法人を若者が社員として安定した雇用条件のもと林業に従事する場とする。

更に、心身のリフレッシュ等森林のもつ保健、休養機能を活用した森林体験施設として「ゆとりすとパーク」「中村大王」、「梶ヶ森スカイライ

ン」及び里道の整備による森林浴の森等、地域間交流拠点として整備する。こうした施設は、交流、憩いの場として日常生活を魅力あるものとするとともに、管理運営にあたる法人を若者の就労の場とする。

本町の将来に向けた活性化基本方針として、二八一号から四回にわたり掲載してきたように、若者中心の生活空間であり企業の活動空間「核集落」、衛星集落の拠点「準核集落」、高齢者の生活空間、農業経営空間であり若者のセカンドライフステージの「衛星集落」、林業経営空間、森林体験空間「森林エリア」、それぞれの機能を整備し、自然とゆとりに満ちた生活空間「ゆとりすとカントリ1」「おおとよ」を建設する。



全国交通安全母の会連合会長表彰

大豊町母の会 平石常子会長受賞



町連合婦人会
会長平石常子

十二月十五日、東京において「第二十一回交通安全母親全国大会」が行われました。その席上、大豊町交通安全母の会・平石常子会長が、全国交通安全母の会連合会長表彰を受賞されました。

昭和五十五年四月、西峰地区交通安全母の会会長に就任以来、昭和五十九年四月、大豊町交通安全母の会副会長、昭和六十三年、同会長（現在に至る）と、永年にわたり交通事故防止・正しい交通ルールの実践・交通安全キャンペーンなど、婦人会活動を通じて、交通安全運動に積極的に取り組んでこられました。

こうした日頃の活動が認められ、この度の受賞につながったものと思います。

健康に留意され、今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。

町連合婦人会「花とり音頭」を披露

第三十九回・高知県婦人大会が、十一月三十日、県民ホールで開催されました。

二十一世紀に向けて、「個性と能力を発揮して、生活設計の充実を計り心豊かでやさしい地域社会を創造しよう」をテーマに、県下各地区より千五百名余りが参加。

本町の連合婦人会から、平石常子会長・他六十六名が参加。

午後からのアトラクションでは、土長地区を代表しての「花とり音頭」を、県民ホールの大舞台いっぱいにはね踊り、会場からは、オヒネリや声援が飛ぶなど、拍手喝采。大豊連合婦人会のパワーを遺憾なく披露しました。

◎町連合婦人会では、活力ある住み良い地域づくり、健康で明るい家庭づくり、全町民参加の交通安全運動、そして生涯学習時代への対応として各地区で様々な活動を行っています。

今後とも、町民の皆様方のご理解とご協力の程をお願い致します。



県民ホールの大舞台で
花とり音頭を披露



大会宣言

地域を活動の基盤とする私たちにとって「国際家族年」のことしは、家庭・地域を、そして社会を見直す絶好の機会であり、そして環境・福祉・青少年、私たち自身の問題も、解決への糸口は、身近な家庭や地域にあることを確認いたしました。

さらに、誰もが安心して暮らせる社会の実現をめざす私たちの日常活動には、より広範な地域住民の共同参加が不可欠であり、その中核として、今後も多彩な取り組みを展開していくことを誓いあいました。

私たちは人類の共通の願いである平和と平等の実現に向けて、さらに努力すること、ここに宣言いたします。

平成六年十一月三十日
第三十九回
高知県婦人大会

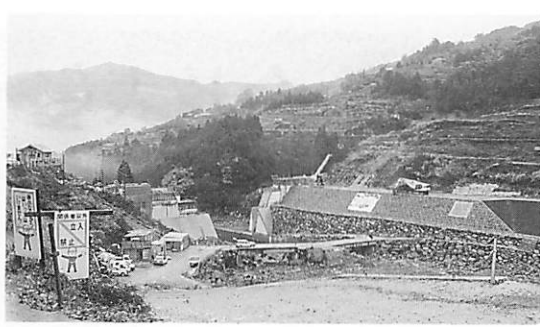
福寿草のレリーフ完成

怒田地区南大王川右岸に、建設省が「たかたび護岸工事」を施工していましたが、この度、その一部が完成しました。

昨年三月、落合から梶ヶ森に通じる八畝部落に「ギャラリーさぼつ」が開館し、多くの方々が入館しています。

その対岸に「福寿草」を描いたレリーフ（浮き彫り）が完成しました。

当地区の環境整備の一環と

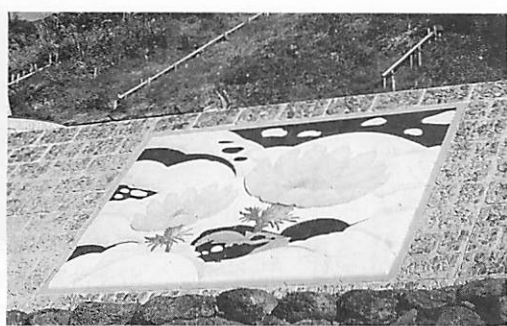


たかたび護岸工事現場の全景

して、無機質なコンクリートブロックで護岸のイメージをなくするため、石張ブロックを使用した活気的なデザインで仕上げられています。

また、この地区の地名である「怒田」も、同護岸に描くなど、環境と美観に配慮された護岸工事がなされています。

ぜひ、同地区をお通りの際は、八畝部落の「ギャラリーさぼつ」館と合わせ対岸にも目を向けて下さい。



対岸に「福寿草のレリーフ」が完成

砂防資料館に

身体障害者用昇降設備完成

東土居に平成三年十月、砂防資料館がオープンしました。

以来、町民の方はもちろんのこと、広く県内外からの見学者や研修等で多くの方々が訪れています。館の出入り口に段差があり、

車椅子等の出入りが困難な状況であったため、この度、出



完成した砂防資料館入口

入り口にスロープをつくり、身体に障害をもった方々等の出入りがスムーズにできるようになりました。

建設省吉野川砂防工事事務所では、今後とも広く、砂防・地すべり事業等環境整備を含めた取り組みを行い、国土の保全と地域の安全を配慮した事業の推進を進めるとのことです。

ぜひ、東土居の砂防資料館を見学して頂き、砂防・地すべり事業等について、地域住民のご理解を頂きたいということです。

「盆栽の里」開苑記念

藤川武夫個人展(角茂谷)

十一月十八日～二十日の間土佐の銘石「鑑石」を支流とする奇石・珍石による大型石付盆栽展が、JR角茂谷駅から約百六十メートル上の栗島神社・四目八幡宮の境内で行われました。

この記念展は、藤川武夫氏(角茂谷)が趣味を生かした独自の手法により、年月をかけて作り上げた石付盆栽の数々で独特のものだそうす。



藤川武夫氏の個展から石付盆栽

偉大な自然の造形を創造させる銘石「鑑石」と美を象徴させる盆栽、そして盆栽を支える鉢台や木工芸品なども並列されており、盆栽や銘石に興味のある方は次の機会にぜひご覧ください。必見に値するものと思います。

農業者年金に加入を

農業者年金は、農業者を対象にした国の法律に基づく年金制度で、他の制度には見られない高率の国庫補助がある大変有利で将来にわたって安心して頼れる制度です。

加入していない農業経営者と後継者の方は農業者年金に加入しましょう。

加入資格 次の要件を満たしている農業経営者と後継者
①国民年金の第一号被保険者であること

②自分名義の農地が三十アール以上ある方か、親の名義の農地が三十アール以上で後継者になることがはっきりしていること

③四十歳未満であること
(ただし、四十歳以上の方も四十五歳までは特例的に加入できます)

保険料 三十五歳未満の加入期間は、通常の保険料より三十%ほど安い保険料が適用されます。

給付の種類・支給要件など
▽経営移譲年金①六十歳から六十五歳までの間に経営移譲(自分名義の農地を後継者や第三者などに譲るか貸し付

け、経営主の地位を名実ともに譲受者に移す)した場合に終身受給できます。②支給開始時期(六十歳から六十五歳まで)を選択できます。③経営移譲の相手方が農業者年金加入者などである場合は、加算付の年金が受給できます。

▽農業者老齢年金①経営移譲をしなかった場合に国民年金に上乗せして終身受給できます。②支給開始年齢は六十五歳からです。

問合せ 農業委員会または農協



ミニトマトを栽培するウターン青年 西峰三谷・西山雅大君

農業のことを知りたい方

「全国農業新聞」の「一読を

みなさん、全国農業会議所から発行されている農業総合専門誌「全国農業新聞」をご存じですか。

いま、日本の農業・農村は、ガット農業台意や新農政の推進など、新しい時代を迎えています。その中で食料の安定供給、環境破壊、食品の安全性の問題など、消費者のみなさんの農業・農村に対する関心もますます高まっています。

全国農業新聞は、農業施策のわかりやすい解説ならびに食料・農業・農村の最新動向を正確に伝えるとともに、消費者のみなさんご理解を得るための編集に心がけています。ぜひともご一読を。

発行日 毎週金曜日(月四回発行)形態 B3判十ペー
ジ建、購読料 月六百元(送料共)、申込先 農業委員会

福寿草まつりにおいでよ

《山里の春を上げる可愛い妖精に逢いにきませんか》

期 間 平成7年2月11日(日)～3月12日(日)

場 所 福寿草の里(大豊町南大王)

イベント
のご案内

- 2月11日(祝日) 10:00～12:00 オープニングセレモニー もちまき・山田太鼓
- 2月12日(日) 11:00～13:30 永渕神楽の舞 (国重要無形文化財)
- 2月19日(日) 随 時 もちつき実演販売 特産物の販売
- 2月26日(日) 11:00～14:30 野点の会 特産物の販売
- 3月6日(日) 随 時 もちつき実演販売 特産物の販売
- 3月12日(日) フォトコンテスト審査発表会 特産物の販売

★入山の際、福寿草を守り育てるため、施設整備協力金として お一人250円をお願いしています。なお、まつり会場では、連日特産物の展示販売やお茶の接待などを行っていますが、当日の天候等の関係で各催しも中止になる事もあります。

★問合せ/福寿草を育てる会婦人部 ☎(0887) 74-0324 にお問い合わせください。

保険コーナー

このコーナーも三回目を迎えました。名称を「国保コーナー」から「保険コーナー」に改めさせていただきました。
老人医療を含めた幅広い内容について掲載させていただきます。

今回は、主に老人医療についてお知らせいたします。

◎七十歳になった方は、

誕生日の翌月初日（一日誕生日の方は当月から）老人医療に変わりますので手続きをお忘れなく！

◎手続きに必要なもの

保険証・印鑑

◎六十五歳以上七十歳未満の障害者の方

国民年金の障害年金（一・二級）受給者または身体障害者手帳（一・三級・四級の一部）の方は、六十五歳から老人医療の適用が受けられます。

資格取得日は、申請後、認定日の翌月初日からです。

◎手続きに必要なもの

国民年金（障害年金）証書
または身体障害者手帳
保険証・印鑑

◎老人医療を受給中の方

次のような場合、保険証、受給者証、印鑑を持参のうえ、早急に届け出をお願いします。

◎転入してきたとき

◎転出・転居するとき

◎保険証が変更になったとき

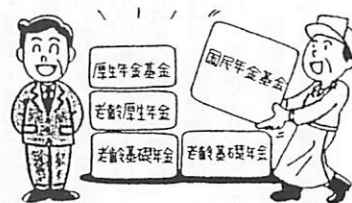
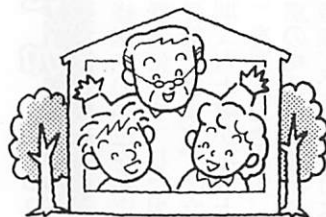
死亡のとき

◎生活保護を受けるようになったとき

◎医療保険の資格を失ったとき

◇入院されている方で、次に該当する場合は、入院時一部負担金の特例措置が受けられますので申請してください。

人工透析、血友病の認定を受けている方は、同一の病院での入院時一部負担金の支払は、一カ月一万円が限度となります。



老齢福祉年金（支給が停止されている場合は除きます）

の受給権を有し、主たる生計維持者が市町村民税非課税の場合、同一の病院に二カ月以上入院している場合は、二カ月間は一日三百円、その後は免除されます。

詳しいお問い合わせは、住民課保険班 ☎七二一〇四五〇までお願いします。

国保税の納め忘れはありませんか？

平成六年十二月二十八日が第六期の納期限でした。

お忘れの方は、お早めに納付をお願いします。

お問い合わせは、総務課税務班 ☎七二一〇四五〇までお願いします。

「みつめようふるさと」

——大豊町女性教室——

「みつめようふるさと」をテーマに、平成六年度の女性教室が行われています。

この教室は、大豊の明日を担う女性として、お互いの教養と見聞を広めようと、本年の四月、公民館報で呼び掛けるところ、二十五名の申し込みがありました。

第一回教室（九月二十四日）山荘梶ヶ森にて、本年度のテーマと学習内容について話し合った後、天体観測や梶ヶ森の植物観察を行いました。

第二回教室（十月二十九日）

立川地区の「小槌会」が取り組んでいる地域起こし活動を見学、立川そばづくりの体験、そして、まだ紅葉が残る「参勤交代道」を笹ヶ峰峠まで歩き歴史の道を探索しました。

第三回教室（二月十八日）

町づくりについての話し合いと、町内の施設めぐりを計画しています。
なお、七年度も、こうした教室を計画していますので、ぜひご参加して下さい。



立川地区での女性教室



社会啓発コーナー

『いじめ・いじめ自殺』 と人権擁護への道

愛知県西尾市で起きた中学二年生大河内清輝君の「いじめ自殺事件」の悲劇は何を物語っているのでしょうか。

遺書の主な内容や出来事が新聞や週刊誌・テレビなどでほぼ知ることができました。「いつも四人にお金を取られていました。今日持っていくお金がどうしても見つからなかった。」

これから生きていても……だから……また、みんなと一生幸せに暮らしたいです。

小学校六年生ぐらいからすこしだけいじめられ始めて、中一になったらハードになって、休みの前にはいつも多いときで六万円、すくないときで三万円から四万円要求されました。だから……（中略）十四年間、本当にありがたうございました。僕は旅立ちます」

脅される度になんとか対応しようとして、もがきにもがいた中学生の心中を察すると、「いじめ自殺」事件の残酷さと

学校における人間関係のすさまじさが浮かんて来ます。

実は、清輝君のことで思い出すことは、八年前に起きた東京都中野区富士見中二年生鹿川裕史君が、仙台の叔母さんを訪ねる途中、盛岡駅のトイレ内で自殺した事なのです。

「こんなままじゃ生き地獄になっちゃうよ」「まだ死にたくないよ」と遺書を残し、痛ましくも淋しく果てた鹿川君。彼のいじめは、親も知り先生も葬式ごっこで、いじめに加わったこと。先生がいじめの現場を見ながら「君が、いじめの中から抜け出せないのも悪い」と言ったということなのです。

このことを私たちはどう受けとめたら良いのでしょうか。最近「子供の人権」と言う言葉をよく聞きます。

追いつめられて、一人またひとり、自らの命を絶てていった「いじめ自殺」。平成六年に「いじめ」が原因で自殺したと思われるものが、七件も出ているのです。

文部省は、専門家会議を開き緊急アピールを発表しました。

この六項目にわたるアピールには、次のようなことが述べ

べられています。

一、「いじめ」は、学校・家庭・社会が連携して、総合的に取り組まなければならない。

二、すべての学校で「いじめ」があるのではないかと言う問題意識をもって、学校の総点検を行うこと。

三、社会で許されない行為は子供でも許されないとの強い認識に立って、学校・家庭・社会が、子供にのぞむべきであり、子供もその自覚を持つこと。

四、子供と親や教師の信頼関係をさらに深めること。

五、家庭における子供の生活態度の厳しい見直し。

六、学校と地域社会、児童相談所など関係行政機関との連携協力と国・地方公共団体のいじめ対策充実。

私は、これらの対策は、ごくあたり前の事を言っているようで、本当に有効な手立てとして生かされていくでしょうか、疑問に思われてなりません。「社会で許されないことだ」との認識が、地域や学校現場・家庭でどれほどいかされてきているのでしょうか。

永年、同和教育を推進して

きている私は、「いじめ」問題を自らのものとして、深い関心をもって対応してきました。しかも私は、あくまでも「人権擁護」の角度から、この問題を見ているのです。

◎日本国憲法、第十一条「国民はすべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与へられる。」と定められているのです。

この憲法の理念がどの程度まで、子供たちのものになっているのでしょうか。

「いじめ」の事実関係が明らかにするにつれて「学校と家庭」との行き違い「家庭と子供」との行き違い「家庭と子供」の行き違いが、どうしようもなく決定的な「ゆがみ」として出てきました。

これらの「ゆがみ」を早急に是正していく、具体的な活動が必要であります。

いじめ対策緊急アピールの強化にまつまでもなく「相手の身になって考える教育」「人を愛し、人を大切にすること」「この日々の実戦充実の教育」にこそ、いじめのない、すべて

の差別のない、明るい町づくりが出来るものだと考えます。

一九九五年一月 中山忠男
◎中山先生には、大変お忙しいなか、いつも原稿を頂き、本町での社会啓発に示唆を頂いています。

感謝を申し上げ、心からお礼を申し上げるものであります。 大豊町中央公民館長

大豊町少年育成センター・教育相談所からのお願い

今、いじめ問題が大きな社会問題となっています。

こうした問題は、学校だけの取り組み・家庭だけの取り組みでは、目のとどかない事なども多くあります。

学校・家庭・地域の連携を密にし、青少年の健全な育成を考えそれぞれの人権尊重を十分に配慮した取り組みが重要です。

お子様の成長段階で「学校の事・家庭内での事・その他」等でお悩みの事がありましたら秘密は厳守しますのでご相談下さい。

町教育委員会内 少年育成センター・教育相談所 ☎72-0094

成人おめでとう

夢をもち、それを抱き続ける

はたちと選挙権

大人の自覚、大人の責任

成人を迎えると、法律的にも大人として認められ、さまざまな権利や責任をもつこととなります。選挙権も、その中の権利の一つです。

に込められ、代表者を選び、社会を動かしていきます。政治は、最終的に国民が決めるのです。これが、主権在民です。

選挙は、あなたの意思を主権者として政治に反映させることができる場です。

決して、人ごとではありません。あなたの意思が一票

新聞などで国会の記事を読み、テレビで国会中継を

選挙権とは
代表者を選ぶ権利

世代と世代の支え合い

はたちになつたら

国民年金に入ろう

平成三年四月一日から、働いている人はもちろん、はたち以上の学生の皆さんも国民年金への加入が義務づけられました。「なぜ、学生も入らなければならなかったのか」と疑問をもつ方もいるでしょう。これには、次のような理由があるのです。

もし、病气やけがをして

障害が残っても、国民年金に加入していないと、障害基礎年金が支給されないのです。また、将来受け取ることができる老齢基礎年金は、二十〜六十歳の四十年間の加入期間を満たしていることが、満額の年金を受け取るための要件です。ですから、大学を卒業後に加入した方は、四十年に足り

ない期間の分だけ年金を減額されてしまいます。こうしたことが起きないように、学生の皆さんも、国民年金に加入することが義務づけられたのです。

みんなで
支え合い助け合っ

「年金って、年寄りが入るものだろう」「いまから、老後のことなんて、考えられるか」という人も、いるかもしれません。たしかに若い皆さんにとって、老後は



見たことがある人も多いでしょう。席には国会議員が座っています。国民が選んだ代表者が、国の方向を決める光景です。この代表者を選ぶ権利が、選挙権です。わたしたちの生活をよくする

ずつと先のことです。しかし、国民年金は、いざというときに国民みんなで支え合うシステムです。はたちになつたら、国民年金に加入しましょう。



元気をナイスリターン！ はたちの献血。

しっかり応援、あなたの健康。



遠くにいても届けられる、思いやり。

今年 は亥年

今年

は亥年——十二支の最後の干支です。

十二の方角を示す十二支それぞれに動物を当てたのは中国です。中国でも当然同じ亥年です。しかし、おもしろいことに、中国ではカレンダ―などにかかれる絵は、イノシシではなくブタの絵を見かけます。イノシシはブタの先祖ですから、同じようなことなのでしょうか。

さて、イノシシは、日本では北海道、東北、北陸の一部を除いた広い範囲に分布しています。奄美大島や沖縄などには、琉球イノシシと呼ばれている小型のものが生息しています。

猪首

という言葉があるように、イノシシは首が短い独特の体形をしています。口吻（口先、口元）

が長く、その先に円盤状の鼻鏡があります。首から背にかけての剛毛は怒ると立つて、怒り毛と呼ばれます。雑食で、

キノコやタケノコなどの植物を食へますし、ヘビやカエル、ミミズなどの動物も食へます。

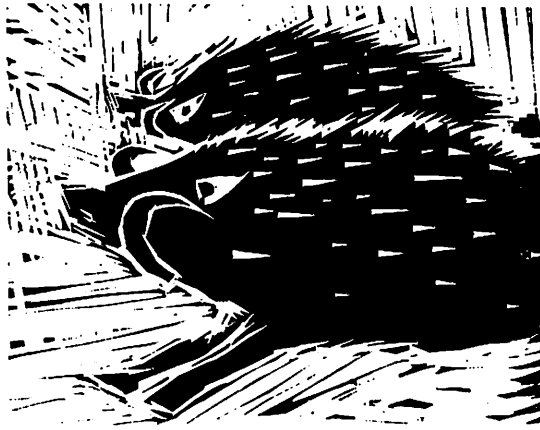
イノシシは夜

間に食を求めて人里に現れ、栗や芋、稲などを食へてしまします。芋は鼻鏡を巧みに使って掘り起こし、栗はさばて穴を開けて食へます。また、ぬたを打つ、といった、体に泥を塗る習性があるので、たんぼを荒らすこともしばしばです。このため、人間はイノシシを害獣とし、畑やたんぼに垣などをめぐらし、イノシシの侵入を防ぎます。

人間

は、昔からイノシシをさまざまに利用してきました。肉は獣肉を

食へることを忌避していた時代から、山くじらと呼ばんで食へてきました。毛はブラシに、歯は印材に、胃液はマムシにかまれたときに使ったといいますが、それは怒り毛で縫



つたようです。

イノシシといえば、猪突猛進という言葉が連想されます。でも、いまはゆとり時代です。暮らしにメリハリをつけ、猪突猛進をしたら、ゆつくり休むようにしたいものですね。

ごみの収集について(お願い)

一ごみの出し方一

○燃えるごみは、町指定のごみ袋に入れて出して下さい。

「必ず町指定のごみ袋を使用してください」

○燃えるごみと燃えないごみの分別をしてください。

○生ごみは、水分をよく切りごみ袋に入れお出し下さい。



注 意

◎町指定のごみ袋でないものや、不燃物（ビン・カン類）が入っているものは、収集しません。

◎必ず「指定の日に指定の場所に」ルールを守ってお出し願います。

「予防接種法の改正による

予防接種について」

平成六年十月一日の結核予防法および予防接種法の一部改正に伴い、大豊町内で行われる予防接種が変わります。今回の法改正の趣旨は、予防接種による被害を最小限に食い止めようというものです。具体的には、

- ① 予防接種時間を十分にとる。
- ② 保護者または本人が予防接種の必要性を理解した上で受ける。
- ③ 市町村は予防接種に関する知識や理解が深まるよう広報活動を行う。

また、お子さん一人一人の体調の良いときに予防接種が受けられるよう「個別接種」導入の推進が呼びかけられています。

なお、予防接種の種類や対象年齢にも変更がありますので、平成七年四月には、中学三年生までのお子さんのいる家庭に小冊子「予防接種と子供の健康」を配布する予定です。

いじめ・非行・暴力の追放は 家庭・学校・地域の連携で

1994年の後半は、いじめ問題で傷ましい事件が続発し大きな社会問題となりました。こうした問題は、学校だけの取り組み・家庭だけの取り組みでは、目のとどかない事なども多くあります。家庭・学校・地域の連携を密にし、青少年の健全な育成と、それぞれの人権の尊重を十分に配慮しましょう。

ご存じですか…大豊町にも少年育成センター・教育相談所があるのを

もし、お子様の成長段階で「学校の事や家庭の事」お悩みのことがありましたら、秘密は厳守しますので下記にご相談下さい。

大豊町教育委員会内 少年育成センター・教育相談書 ☎ 72-0094

県立高等技術学校平成七年四月在校生募集

県立高等技術学校では、新しく職業につくために必要な知識や技術を習得するための職業訓練を行っています。

◎募集対象者

- 一、普通過程 中学校卒業以上で三十歳未満の者
- 高知高等技術学校自動車板金科は二十五歳未満の者
- 中村高等技術学校建築科は三十歳未満の者
- 二、短期課程 求職活動中の方（新規学校卒業者も入校できます）

三、特典 授業料は無料（教科書代・作業服等に四・七万円程度が必要）

四、交通期間の学割制度が適用されます。

五、寄宿舎有（食費等として一カ月二万円程度必要）

◎詳しくは各公共職業安定所または高知高等技術学校

☎ 〇八八八—四七—六六〇—一にお問い合わせ下さい。

あなたの地域の安全推進委員さん（紹介）

次の皆さんが「嶺北地域安全推進委員」として選ばれ、嶺北地区防犯協議会長（本山町長）と本山警察署長の連名で委嘱状が交付されています。

紹介（本町の安全推進委員 二十四名）

地区	氏名	地区	氏名
杉	菅原 章博	川	戸 松本 仁
杉	岩本 相天	安	野々 都築 義彦
日	小笠原重典	東	土居 笹岡 秀男
川	口南 上西 国義	東	土居 上池 重典
穴	内 山本美保子	東	土居 西谷 侑紀
穴	内 岡本 修二	八	川 近藤 清市
立	川 小松 文江	大	久保 都築 正光
立	川 永野 俊夫	岩	原 北窪 昭雄
尾	生 高橋 正喜	大	滝 近藤 英雄
黒	石 秋山 弘安	怒	田 三谷 憲
船	戸 上村 邦文	八	畝 西村 正尚
大	田口 樋口 喜三	西	峰 永森 妙子

☆地域安全委員は、地域内の住民と常に連絡を密にするとともに、犯罪の予防、少年の非行防止、交通安全等に関する活動を行うボランティアとして、皆様と連携し、次に掲げる活動を行うものです。

- 一、安全で住み良い町づくりのための諸活動
 - 二、地域安全ニュース等の地域住民への伝達
 - 三、地域住民の意見及び要望の集約
 - 四、祭礼時等における警戒活動への参加
 - 五、警察等が行う地域安全活動への参加
- ☆地域安全推進員を中心として、地域が一体となった活動を推進しますのでご理解とご協力をお願いします。

本山警察署

お誕生おめでとうございます

◎平成6年11月1日～12月31日までの受付(6名)

出生児	生年月日	性	父	母	部落
澤 篤礼	10月27日	男	一陽	幸	川口南
西岡 哲也	10月31日	男	栄造	順子	川口南
岡林 楓	11月12日	男	浩行	由美	馬瀬
蒲池 達	11月19日	男	卓也	みのり	川口南
豊永恵美香	12月20日	女	重雄	晶子	川口南
笹岡 新吾	12月22日	男	祐介	貴美	大王下

元気に育て おおとよっ子

なりますと、税務署は大変複雑し、落ち着いて相談できなかったり長時間お待ちいただくようなことになりかねません。とくに、最終日(3月15日)は、ひどく混雑します。確定申告は、できるだけお早めにお済ませください。なお、申告方法等について分からないことがありましたら、お気軽に税務署までお尋ねください。

0888-63-3215

所得税の確定申告は

正しく、お早めに

平成6年分の所得税の確定申告の時期が近づいてまいりました。

税務署では、みなさんの便

宜を考えて、平成7年2月20日(月)大豊町農工センターにおいて、午前9時30分から午後四時まで、相談を受け付ける予定です。

なお、申告期間は、平成7年2月16日から平成7年3月15日までですが、期限間近に



平成6年分消費税の確定申告
(個人事業主、1月1日～3月31日)

ご冥福をお祈りいたします

◎平成6年11月1日～12月31日までの受付(22名)

氏名	死亡月日	性	年齢	部落
小林 松於	10月31日	女	98歳	谷
上村 廣茂	11月1日	男	90歳	上桃園
坂本 龍衛	11月1日	女	92歳	西寺内
三谷喜美恵	11月1日	女	82歳	岩原
上村 岩女	11月4日	女	94歳	大滝
中西 於郷	11月9日	女	79歳	大砂子
西山鶴喜代	11月10日	男	85歳	小川
小笠原 浩	11月15日	男	82歳	西峯三谷
山中 泉	11月22日	男	42歳	上東
河野 清子	11月22日	女	88歳	和田
藤原久壽千代	11月23日	女	81歳	岩原
永森 初繁	12月1日	男	68歳	久生野
松田 静子	12月6日	女	73歳	柚木
池添 輝雄	12月11日	男	86歳	和田
大田 利富	12月15日	男	84歳	土居
藤川喜代香	12月17日	女	72歳	馬瀬
上村 一郎	12月22日	男	80歳	上桃園
田中 慎一	12月23日	男	67歳	大田口
柳村 満恵	12月26日	女	82歳	西久保
渡邊 博	12月28日	男	68歳	佐賀山
三田 榮壽	12月28日	女	76歳	本村
美濃 秀政	12月30日	男	90歳	大王下



はじめまして 大豊の住民になりました

● 今後とも可愛がって下さいね ●



蒲池 ^{いたる} 達くん



岡林 ^{かえで} 楓くん



豊永恵美香 ^{えみか} ちゃん



澤 ^{あつし} 篤礼くん



笹岡新吾 ^{しんご} くん

ともしび「第5号」発刊（お知らせ）

ともしび

第5号



国宝豊楽寺薬師堂
大豊町文化推進協議会
1994.12.12

本町での文化推進協議会活動につきましては、各方面からのご支援を頂き誠にありがとうございます。

皆様方のご理解とご協力を頂きまして、この度、ともしび「第5号」を発刊することが出来ました。

お入用の方は、文化推進協議会事務局・または町教育委員会にお問い合わせ下さい。

なお、印刷費や諸経費等のため、一冊 500円頂いていますので申し添えます。 大豊町文化推進協議会

やまびこ

句会
作品抄

三谷 幸正
逢いたさの十指で包む冬のグ
ラス

杉本 賀美
つゆ草の瑠璃色疑うこと知ら
ず

猪野 義晴
急ぐ水 急がぬ水も澄む晩秋

秋山 良恵
段畑があるから婆は大根引く
吉川 邦子

冬海の音が聞こえる 民具館
松浦 美恵

大根引く小さき母の背中見
ます。

明けておめでとことや
います。

皆様方ご家族お揃いで希望
に満ちた新春を迎えられた事
と存じます。

本年も「公民館活動・生涯
学習活動・ゆとりすと養成事
業」等々、本町の現状に即し
た各事業の推進に、課員一同
全力で取り組む所存です。

町民各位のご理解とご協力
をお願い致します。 館長